

B-80 技術上達を「繰返し」によって行なう和服 仕立業者の Technique profile について

郡女大家政 ○関口 富左
門馬 寿子

1. 本研究は、被服工作技術習得について、和服仕立業者の「繰返し」的指導と、知的、性格的諸要素との関係よりみる Technique profile 指導とを比較検討し、その作品をとおして、被服工作技術の内包する諸問題を究明しようとするものである。

2. 試料 大裁女単衣長着、水色無地浴衣地36反、郡山市内UおよびTデパート所属の和服仕立担当者のうち18名を被験者とする。

実験方法 (イ) 同一条件下において大裁単衣長着を、縫方法を統一指導の上施工させる。T.P 評価法により、タイプ別に分団し、(ロ) 第2回も同様試料により、各タイプによる低位点の刺激を主として同様施工。第1回同様評価により、そのタイプの変化傾向と位置の移動をみる。(ハ) 質問紙法により40問の性格特性を調査する。(ニ) 労働省職業適性検査を行なう。上記(イ)(ロ)(ハ)(ニ)等についての相関をみる。

3. 次のような成果をみた。(イ) 作品評価の結果、平均4~13の高さを示したが、洗練度(みかけ)は13~12と高く、みせかけについての技術が高い。(ロ) 指先の器用さにおいて平均2~3.6、手先の器用さにおいて平均9~28の2項のみが意外に高い。これは長年月の「繰返し」による練磨の結果とみられる。(ハ) 第1回第2回の技術上達度はわずか0.028である。(ニ) 固定性67%、移行性33%となり中学生よりも固定性が低く移行性が高い。(ホ) 作品と知能など諸性能、性格特性などとの相関はみるべきものがない。